



## Q 岡義博法律事務所報 第58号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階

TEL (087) 821-1300

FAX (087) 821-1833

MAIL oka-law@kln.ne.jp

HP <http://www.kln.ne.jp/oka-law/>

### 知 恵

所 長 弁 護 士 岡 義 博

新型コロナウイルスが世界中に蔓延している。イタリアでは爆発的に感染者が増え医療崩壊が起きている。日本は、この原稿を書いている時点ではまだ何とか踏みとどまっている状況であるが、東京では毎日多数の感染者が出ている。

オリンピック・パラリンピックが延期されてしまった。コンサートの中止や、野球、サッカー、バスケットボールなどのスポーツも中止、延期され、生活に潤いがなくなってしまった。旅行も自粛され、外食で飲食店へ行く人も減ってしまった。経済活動は大きく縮小し、株価も大幅に下落した。実体経済が不活性になってしまった上、終わりが見えないので、この不況は深刻である。

しかし、過剰に反応し過ぎてマスクの買い占めに走るのは愚かである。まして、マスクを買い占めて暴利で転売するなどは論外である。このような行動に出る者がいるので規制が厳しくなるのである。新型インフルエンザ等対策特別措置法が改正され、緊急事態宣言が導入されてしまった。緊急事態宣言がなされると、主権が制限されることになる。不要不急の外出の自粛、学校、老人福祉施設の利用停止、音楽・スポーツイベントの開催制限

などがなされる。土地・建物の強制使用も可能となる。皆が、愚行に走らず冷静に行動していれば、このような法改正に到らなかったかもしれない。

重要なのは過剰反応しないことであろう。人間には知恵があるのだから、冷静に判断し、対処すれば難局を乗り切ることはできる。

爆発的な感染の要因となるのは密閉（閉鎖空間）、密集（多人数）、密接（近距離）の3要素が重なった場合だと言われている。2つの要素が重なってもリスクは高い。これらの要素が重ならないように工夫して生活することは可能であろう。手洗いも簡単にできることである。

今は日本中で自粛し、不要不急の外出を控える時である。自分ひとりくらい大丈夫と考え外出することによって感染する（させる）ことがあるかもしれない。今は日本全体のことを考えて行動する時である。

いや、日本の事だけでなく、世界の事を考える時である。たとえ日本で感染が収まっても、世界で感染が収まらなかったら、また、日本にウイルスが入り込むかもしれない。コロナは世界中の人が一緒に取り組むべき課題である。



### 法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス（Themis…ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します）を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

身近な法律シリーズ (58) 国民の休日に関する法律①

国民の休日に関する法律というものがある。全部で3条しかない。昭和23年に法律が制定された当時の祝日は9個であった。元旦、成人の日、春分の日、天皇誕生日、憲法記念日、こどもの日、秋分の日、文化の日、勤労感謝の日の9個である。その後、建国記念日、敬老の日、体育の日が増えた。更に、みどりの日、海の日、昭和の日、山の日が増え、現在では16個が祝日となっている。日本人は段々怠け者になっている気もする。

祝日に加えて、祝日が日曜日の場合は、翌日の月曜日を休日とする振替休日制度もできた。更に、2つの祝日に挟まれた平日を休日とする国民の休日制度もできた。こうなるともう休みだらけである。そこで、2019年には、土曜日も含めて10連休という大型連休が生まれた。

祝日を月曜日に移動するという事も行われている。ハッピーマンデーである。成人の日は1月の第2月曜に、海の日は7月の第3月曜に、敬老の日は9月の第3月曜に、スポー

ツの日は10月の第2月曜に移動された。土曜も含めて3連休にしようというのである。

今年(2020年)は東京オリンピック・パラリンピックがあり、祝日の移動が行われている。海の日は本来なら7月20日であるが、7月23日(オリンピック開会式の前日)に、スポーツの日は7月24日(開会式当日)に移動された。スポーツの日は10月からの大移動である。山の日は本来の8月11日から8月10日(閉会式の翌日)に移動となった。オリンピック・パラリンピックを盛り上げるためである。

ところが、今世界は新型コロナウイルスで大騒ぎとなり、オリンピック・パラリンピックも延期されることになった。しかし、移動した祝日はそのままにするという。そして、来年のオリンピックに向けて、来年も祝日を移動する方向だという。2年連続の祝日の移動を見て、後世の人はどう思うだろうか。コロナの負の遺産として語り継がれるかもしれない。

## 高松ウォッチング

事務局 E・O

先日、高校の同窓会(長崎南高)に10年ぶりに参加した。100名近い参加者。いや～皆変化。特に男性、誰かさっぱりわからん。老人会の集まり?しかし、かっこいい人見つけた。隣の席の賑やかA子さんに

私「ねえねえ、あの人、ちょっとかっこいいね。

素敵に年取ってるね～」

A子「どこどこ、どの人?」

私「あの真ん中に立っている人よ～」

A子「あ～。私もそう思ったけど、残念でした～。

あれは写真屋さん!」会場は、開始前の集合写真の準備中でした～。

A子「あのさ～、私の好きやった人が名簿みたら来てるんやけど～」

私「え～、誰よ～どの人、何組?」

A子「さっきから探してるんやけど、さっぱり見つけきらんと・・・」

(搜索は難行している)

宴もたけなわ。クラスごと舞台へ上がる。

女子クラスだった私たち11組は、先生を囲んで、森昌子の「先生」を大合唱。

「お～さないわたしが～♪」身ぶり手ぶりでもう気分は18歳。

次のクラスが壇上に。

並んでいる人たちをみてしみじみ思った。年を重ねると、年齢に関係なく、差が出てくるなあと。

B子さんにそれを言う。

私「あの人、だいぶ老けてみえるよね～」

B子「どの人どの人?」

私「いちばん端に立ってる人よ」

B子「どれどれ?あ～端っこの人?

なんばいいよっと。

ありゃ英語の先生たいね」



# 八十八ヶ所巡り

その22

77番道隆寺（どうりゅうじ）。寺名はこの地の領主和氣道隆（みちたか）に由来する。道隆は76番金倉寺を建立した道喜の弟である。その昔この辺りは道隆の桑園であった。その桑の木が夜な夜な光っていた。怪しんだ道隆が光る木を目がけて矢を射った。近づいてみると乳母が矢を受けて倒れていた。乳母は桑の実を取りに来ていたのである。嘆き悲しんだ道隆がその桑の木で薬師如来を刻み安置したところ、乳母は蘇生したという。それが寺の開基とされる。



のち、道隆の子（孫とも言われる）朝祐が弘法大師に戒を授けられた。朝祐の願いで大師は薬師如来を彫り、道隆の刻んだ薬師如来をその胎内に収めたとされる。そこで、二体薬師と呼ばれる50年に1度開帳される秘仏となっている。目直し薬師とも呼ばれ眼病平癒に御利益があると言われている。

また、参道の両脇には日本全国の観音像が祀られている。



どこの札所でもよくある風景であるが、地元の人が境内を掃いたり、ローソク立てや線香台を清めたりしている。初回の巡礼の時に、この寺でも、地元の夫婦と思われる二人連れが、熱心に観音像を磨いていた。札所は地元に密着していると感じる風景である。

夫婦して 観音拭い 秋に入る  
(Y・O)



ちよつとひといき

単身赴任の夫と大学で県外に出ている息子が帰省した。息子の携帯電話の機種変更をする為に、夫と親子三人で出かけた。

車中、「今日、H（息子の名前）と同じ様な恰好しとるな。」夫がそう言うので後部座席から見るとグレーのパーカーにジーンズ。「ほんまやなあ。気が合うなあ。」「でも、Hの身長は父さんと同じくらいのはずやけど、後ろから見たら頭の位置が大部違うよ。」「どっちがどうなん!」「Hの方が高いわ。足の長さは父さんに似たら良かったのに、私に似たんやなあ。残念でした。」そんなことを言いながらお店へ。



事務局 K・K

機種変更手続きに結構な待ち時間がある。ふと、左右を見て、また気がついた! 左の夫と右の息子の待ってるポーズがまた同じ。「また、同じなんですけど〜。」と言うと、二人とも、慌ててポーズを変更。

そういえば、娘が赤ちゃんの頃の写真を見て驚いたことがあった。まるで息子が姉を抱っこしている?と錯覚するほど20代の夫と息子は似ていた。

散々似ているといじられた息子が反撃してきた。

「母さんもばあちゃんに似とるやん。シミの位置までそっくりや!」。

## 外部の方からの投稿です

### Oquesera, será, séra ♪なるようになる♪

事務局 M・K

息子に空前の車ブームが到来。先日、知人が大きな車のオモチャをくれました。緑色のトラックのような形で、ボタンを押すと色々な音が出ます。もらった翌日、目覚めた瞬間オモチャ箱へ飛んでいって、ご機嫌で遊び始めるほど、大のお気に入り！

そして数日後、その車で遊ぶ様子を見てみると、「ちゅーちゅーちゃ」「ちゅーちゅーちゃ」と繰り返しています。「違うよ、それはトラックだよ」と何度言い直しても、不思議そうにするだけで「ちゅーちゅーちゃ」とまた言い始めます。救急車と勘違いして覚えちゃったんだな〜と微笑ましく見ていました。

さらに数日後、主人と息子が遊んでいました。「ちゅーちゅーちゃ！」と言うのを見て主人が「そうだねー、収集車だね」と！

そう、その車の正体は「ゴミ収集車」。主人が「収集車だよ」と教え、息子はきちんと「しゅうしゅうしゃ」と言っていたのです。

まさかそんな難しい車の名前を知っているとは思っても寄らず・・・間違っていたのは私の方なのでした。子供の記憶力恐るべし！

